

令和5年度 村松小学校 学力向上プラン



【児童の実態】

- 《質問紙》・「夢や目標を持っている」と回答した割合が高い。
・ 地域に愛着をもつ児童が多い。
- 《国語》・ 読書に取り組む児童が増えてきている。
・ 条件に合わせた文章を書くことが苦手である。
・ 主語・述語の理解が不十分である。
・ 文章を要約する力が不十分である。
- 《算数》・ 基本的な計算力は、少しずつ向上している。
・ 図形の理解が不十分である。
・ 問題解決の方法について、図や式をもとに論理的に説明することが苦手である。
- 《共通》・ ICT活用の場面が増え、技能が向上している。
・ 問題の意図の読み取りが不十分である。
・ 複数の情報を関連付けて読むことが苦手である。
・ 考えを文章で書き表すことが苦手である。

【到達目標】

- 《めざす姿》未来に夢を描き、時代をよりよく生きるたくましい子ども
《数値目標》
- 国語・算数の学期末評価テスト平均正答率80%以上
 - 無答率5%以下
 - 本の貸し出し数(年間60冊以上)
- 〈到達目標達成のための重点指導事項〉
- 1 書く活動の充実
 - 2 読解力の育成
 - 3 確かな評価(振り返り・習熟)
 - 4 基礎基本の定着

【心の教育】

- 1 支持的風土のある学級づくり
 - ・ 互いに認め合う学級づくり
- 2 道徳・特別活動の充実
 - ・ 粘り強く取り組む心を育てる

【生活指導】

- 1 共通実践事項の徹底
 - ・ あいさつ ・ 時間を守る
- 2 いじめを許さない安心感のある環境づくり
(生活アンケート、個人面談の実施、児童の情報共有と個に応じた指導 等)

【分かる・できる授業の創造】

- 1 「書く活動」を重視する授業
 - ・ 主語や述語を明確にした文章を書かせる。
 - ・ 根拠を明確にした文章を書かせる。
 - ・ 条件に合った文章を書かせる。
 - ・ 複数の資料から読み取った考えを表現させる。
- 2 自力解決の場面・習熟の時間のある授業
- 3 「ねらい」と「まとめ」が子どもに届く授業
- 4 対話活動(ペア・グループ・全体)のある授業
- 5 ICTを活用した授業
- 6 T・Tと連携した個別・補充の指導
- 7 「あじさいスタンダード」を参考とした授業作り

【校内研究】

- 1 授業研究
 - ・ 全体授業・学年授業
 - ・ 初任研・新任研授業
 - ・ ICTを活用した授業
- 2 スキル一覧表の作成
 - ・ 効果的学習の共有
 - 計算バトル
 - 漢字テスト ほか
- 3 現職教育
 - ・ Chromebookの活用法
 - ・ 学力向上研修

【基礎基本の定着】

- 1 スキルタイムの充実(朝 週2回)
 - ・ 既習内容の復習の徹底
 - ・ 活用問題
- 2 クラウド活用型ドリルの活用
- 3 家庭学習の充実と習慣化
 - ・ 今日学習したことの復習
 - ・ 「家庭学習のしおり」の活用
 - ・ 音読カードの活用
 - ・ 自学ノート
- 4 全校学力調査(12月)
 - ・ 全学年(算数)

【授業を支える取組】

- 1 読書活動の充実
 - ・ 朝の読書タイム(週1回)
 - ・ 読み聞かせ(年6回)
 - 図書ボランティア(よみよみの会)
 - ・ ファミリー読書
- 2 学習規律の確立
 - ・ 学習用具のきまり
 - ・ 話型の掲示(発表名人)
- 3 学校サポーターの活用
 - ・ 実技応援隊(家庭科・音楽)
 - ・ おやじの会(総合的な学習の時間)
 - ・ ゲストティーチャー